

# せ ん ぼ 通信 No.51

ば・あ・や・の・う・け・う・り

## 「朽葉48色」

朽葉色(くちばいろ)とは、なんとなく知っていたつもりでしたが、ラジオから聞こえてきた、「朽葉48色…」に、心がピクンとなりました。

48色だったなんて…。

雑木林は…たくさんの木や草が、それぞれの秋色に染まりますが…枯れて落ちるまで、ゆっくりと色が変わっていきます。

その色は、黒っぽい赤…茶っぽい黄色…緑っぽい黄色とか…名も言えない色がいっぱい。そんな色たちを、「朽葉色」と呼び、それらを48色にも分けて染物などに、伝統色として使われていたようです。

昔の人たちの、自然を見る目がやさしい。

誰も振り向かないような葉っぱの色に、目を止めて…心を向けて…名前をつけて、上品な色を作りあげて…。

今はもう茶色に…。でも、朽葉色は、私たちの身のまわりにいっぱい。葉っぱと職人さんが作った色に包まれながら…、

今年も、皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

どうぞ…良いお年をお迎えください。

やっぱり…メスだった…

オカメインコのモモちゃんが卵を産んじやった。  
ヒナにはならない卵だけど、みんなで  
キャーキャーうれしそう…。(2日に1個ずつ4個)  
学校帰りの子供さんたちも…ニコニコ。  
小さい生きもの達って、こんなに人を幸せな  
気持ちにさせちゃうんだ…。  
私の愛情には上限があって…生きものまで  
まわらないけど、「みんなが笑顔」は、うれしい。

子らの打つシャトルはふわっと宙に浮き  
小春日和の風に流るる

川曲・「樫(ゆずり)は」園芸」さんは、米・ネギ・にんにく等を、手広く生産されています。

代表の柏原さん…私が、にんにくを食べられないのを知ってて、「これ、食べてみてください」と、出したのが…「黒にんにく」。

ムリムリ…ダメダメ…オエッて…。

「大丈夫です…臭くないです…甘いんです…青森に送って加工したんです…食べてみてください」。

その真剣なまなざし…に負けて、そうっと少し歯でちぎってゴクン、アッ飲みこめたあ…大丈夫だわ。

「でしょう?」と、笑顔の柏原さん。それから3週間…毎朝ひとかけら。砂漠に水がしみこむように…婆々の体調をスッキリに…。

当店でも販売していますので、どうぞよろしくお願いします。



ユキヤナギの…かえり花

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2018・12・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail: kaikuu-0305@ezweb.ne.jp